

学 会 記 事

一般社団法人日本地質学会の議事録を掲載しています。

日本地質学会2017年度 第2回理事会議事録

日時：2017年9月15日（金）14:00～17:00
会場：ひめぎんホール（県民文化会館）第4会議室（松山市道後町2-5-1）

出席役員

理事（32名）：天野一男 安藤寿男 市川八州夫 大藤茂 岡田誠 犬野彰宏 亀尾浩司 川端清司 小宮剛 斎藤眞 佐々木和彦 坂口有人 沢田健 杉田律子 田村芳彦 田村嘉之 竹下徹 内藤一樹 奈良正和 中澤努 仲谷英夫 西弘嗣 榆井久 平田大二 星博幸 保柳康一 松田達生 松田博貴 向山栄 山田泰広 山本高司 渡部芳夫

監事（1名）：藤本光一郎 事務局：橋辺菊惠

欠席役員

理事（13名）：有馬眞 井龍康文 緒方信一 笠間友博 川辺文久 清川昌一 澤口隆 菖蒲幸男 辻森樹 廣木義久 福富幹男 三田村宗樹 矢島道子

監事（1名）：山本正司

*成立要件：理事総数45名の過半数23名 本日の出席者32名で本理事会は成立。

*議決：出席者の過半数17名

*開催にあたって書記2名（狩野彰宏・田村嘉之）の指名

報告事項

- 執行理事会報告（斎藤常務理事）
 - 斎藤常務理事より2017年度第1?3回執行理事会について報告があった。
 - 西理事から地質デジタル検索システム制作への補助金（子どもゆめ基金助成金）仮払いについて報告があった。
 - 会員動向：会員数は前年同月比-37名。前回の理事会以来の名誉会員2名、正会員6名の逝去者に対し黙禱した。
- 理事及び委員会等報告

1) 125周年記念事業実行委員会（佐々木理事）

- 記念事業の実施状況と実施予定について報告された。また、寄付金の応募状況について報告があり、個人会員が低調であるので目標額達成のための呼びかけが求められた。
- 125周年記念式典は2018年5月18日（金）に北とびで開催、祝賀会は同所東部サロンで開催の予定であることが報告された。

2) 行事委員会（岡田理事）

- 愛媛大会は553件の発表申込があった。申込数は昨年（582件）よりやや少なく（11

年前の高知大会と同程度）、会期中のホテル不足も原因のひとつであることが指摘された。また、台風18号による荒天時は、特別警報・暴風警報の発令により、行事の中止判断に関する説明（愛媛大学の指針に従った）。

・巡査については当初案の11件から8件への絞り込みや日程短縮など行ったが、結果として3件が催行最少人数に至らず中止なった。アウトリーチ巡査が中止となったことについての質問があり、当初アウトリーチ巡査として企画したものでなかったため、日程は特に考慮せずに平日開催であったことが要因との説明があった。

・2018年は9月5日（水）～7日（金）に北海道大学での開催が確定。観光シーズンであるのでホテル、交通等は厳しいことが予想される。2019年は山口大学で開催予定。ホテル確保のため大きな行事とのパッティングや開催曜日等の日程も考慮する。

3) 地質学雑誌編集委員会（中澤理事）

125周年記念特集号の進行状況、通常論文の投稿・受理状況について報告があった。特集号企画により地質学雑誌の論文数は一時的に増加しているが、活況を維持するために活発な投稿が呼びかけられた。

4) アイランドアーク編集委員会（田村理事）

2016年のImpact factor が0.837に低下した。今後、低下の原因分析を行った上で、IF向上のための提案を行うこととする。

5) 県の石支援委員会（代斎藤常務）

進行状況について説明。「県の石」公式解説本のデザイン等について意見が述べられたが、説明によって了解された。

審議事項

1. 地質学雑誌の投稿編集出版規則改正について

中澤理事より多数著者文献の著者名の省略表記についてIsland Arcのスタイルに準じた提案があり、了承された。

2. ジオルジュの出版について

坂口理事よりジオルジュの普及・広報効果と出版経費の現状報告と改善方法の提案があった。ジオルジュを商業ベースにするのは困難であり、フリーペーパー化するのが普及効果を高めるために有効と考えられる。現状で1号あたり80万円程度の経費が必要で、広告費等を差し引いて年間に約100万円の学会負担となっている。そこで、学会負担を4割程度縮小するため、今後は企業に関連した特別ページ・広告ページを増強する。11月にジュンク堂渋谷店で試験的に配布し、効果が認められた場合には全国展開するという方針が提案され、了承された。

3. geo-Flashへの記事の掲載方針について

内藤理事からgeo-Flashの記事掲載基準の明文化の提案があり、一部を修正した上で了承された。

4. 125年札幌大会での記念行事について

竹下理事より「北海道における地質学の発

展と、資源・防災に関連した地質学の役割」に関するシンポジウム、西理事から交流協定締結の海外の5地質学会と連携した国際シンポジウムを開催することが提案された。今後、LOC側とともに上記候補案および国際シンポジウムの実現について検討することになった。

5. その他

放射性廃棄物の地層処分マップについての資源エネルギー庁との意見交換に際し、地質学会から地層処分技術WGの委員として参加している渡部会長がイニシアティブをとって対応することが提案され、了承された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2017年10月25日

一般社団法人日本地質学会
理事会議長 向山 栄
理事会副議長 佐々木和彥
代表理事：会長 渡部芳夫
(以下理事氏名省略)